

やはは

議会だより

182
2012.10.16



それ行け 走れ!
(煙山保育園運動会)

9月議会 決算認定

矢巾中学校建設に14億8900万円・・ 2

決算審査特別委員会報告

予算は適切に使われたか 6

緊急質問

再考すべき 矢巾中学校跡地 12

一般質問 施策を問う

いじめ防止の取り組みなど 一般質問6議員 14

矢巾中学校建設に14億8900万円

矢幅駅周辺の開発に13億89万円

9月定例会は3日から21日までの会期で開催され、23年度の決算を中心に、人事案件や条例案等を審議しました。決算認定は決算審査特別委員会を設置して審査され、本会議においてすべての会計で認定されました。

補正予算は一般会計と全特別会計で計上され、一般会計補正予算は、5億3083万円を追加し、総額104億8195万円となりました。

一般質問は6人が登壇し、いじめ防止の取り組みなど16項目について考えをただしました。

23年度新規事業

- 自治公民館に発電機を配備 903万円
- 放射性物質測定器の導入 772万円
- 協働の道づくり事業 120万円

一般会計補正予算

太陽光発電設置事業

1億206万円

主な歳入

- ▽再生可能エネルギー導入事業補助金 1億80万円

- ▽子育て支援対策臨時特別事業費補助金 8826万円

主な歳出

- ▼太陽光発電設備設置事業（設置施設） 1億206万円

- 勤労者共同福祉センター（流通センター）
- 農村環境改善センター（室岡）
- 農業構造改善センター（土橋）
- 防災コミュニケーションセンター（矢巾分署）



改築予定の不動保育園

契 約

暗きよ排水設置で
農業体質強化

不動地区暗きよ排水設置工事
1億500万円

路面の凍上災害
復旧工事

長岡徳田線道路災害復旧工事
6100万円

条例制定

暴力団排除条例

警察との協力により暴力団の排除を推進し、町民生活の安全と平穩の確保及び町民経済の健全な発展を目的に制定しました。

平成23年度決算 歳出総額 186億円

平成23年度決算は、農業集落排水事業と水道事業で減となりましたが、その他の事業は前年度より歳入歳出とも増となりました。

町の主要な事業を行う一般会計の決算額は、歳入が前年度比10・0%増の114億762万円、歳出は9・0%増の111億4746万円となりました。

その内訳を前年度と比較すると、歳入は矢巾中学校建設に伴う基金からの繰入金が増などで、10億3939万円の増加となりました。

歳出では中学校建設費や災害復旧費等が増となり、全体では9億1869万円の増加となりました。

特別会計においては、矢幅駅周辺土地区画整理事業の伸びが最も大きく、歳入は前年度比30・4%増の13億7448万円、歳出は25・0%増の13億89万円となりました。

会計ごとの決算額 (会計ごとに四捨五入をしている関係で合計額は一致しない場合があります。)

会計名	歳 入		歳 出		
	決 算 額	伸 び 率	決 算 額	伸 び 率	
一 般 会 計	114 億 7762 万円	10.0%	111 億 4746 万円	9.0%	
国民健康保険事業特別会計	25 億 2139 万円	5.2%	23 億 328 万円	5.4%	
介護保険事業特別会計	15 億 4065 万円	7.0%	14 億 8125 万円	6.3%	
後期高齢者医療特別会計	1 億 4645 万円	1.6%	1 億 4383 万円	4.2%	
下水道事業特別会計	11 億 8703 万円	5.7%	11 億 3825 万円	5.0%	
農業集落排水事業特別会計	3 億 1797 万円	△5.6%	3 億 801 万円	△5.7%	
矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計	13 億 7448 万円	30.4%	13 億 89 万円	25.0%	
合 計	185 億 6558 万円	9.6%	178 億 2296 万円	8.7%	
企業会計	収益的収入及び支出	6 億 1234 万円	△0.3%	5 億 2523 万円	△1.9%
	資本的収入及び支出	1493 万円	△13.6%	2 億 8726 万円	15.6%

監査意見

第6次矢巾町総合計画（後期実施計画）の初年度である平成23年度は、事業費ベースの実施率が93・8%とおおむね計画どおり事業が実施された。決算状況は、一般会計ほか6特別会計の実質収支を見ると6億208万円余となり、前年度比1億2925万円余（27・3%）の増となった。すべての会計において黒字決算となり、おおむね健全な財政運営が確保されたと認められる。

ほとんどの税目において微増し、県内市町村において上位に位置している。さまざまな滞納整理手法を駆使し、町民への納税意識の高揚を図ってきた職員に敬意を表する。水道事業は有収率が微減し95・1%となったが、依然年間指標を大幅に上回っている。純利益は前年度より増加し、8113万円余が計上され黒字基調で推移しており、財政状態においても良好と認められた。

立花 純幸 委員
秋篠 忠夫 委員



監査中の立花・秋篠両委員

どう使われた
みんなのお金

一般会計決算額

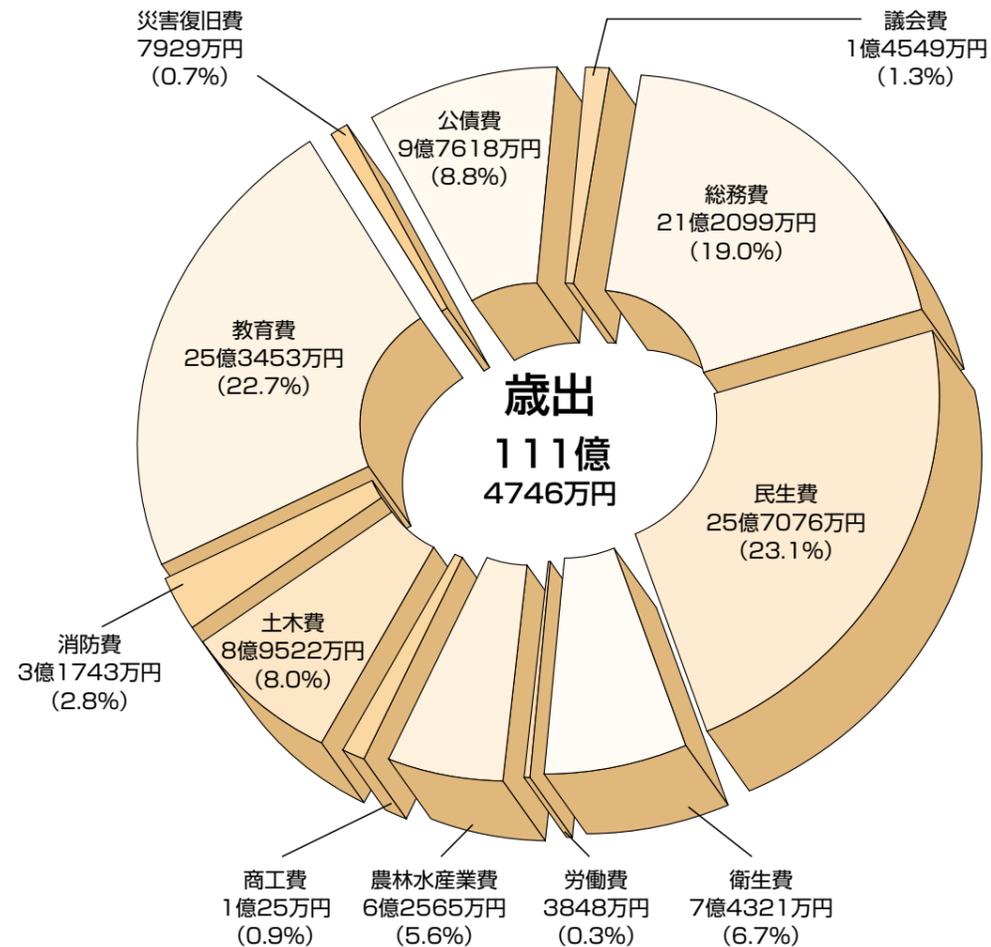
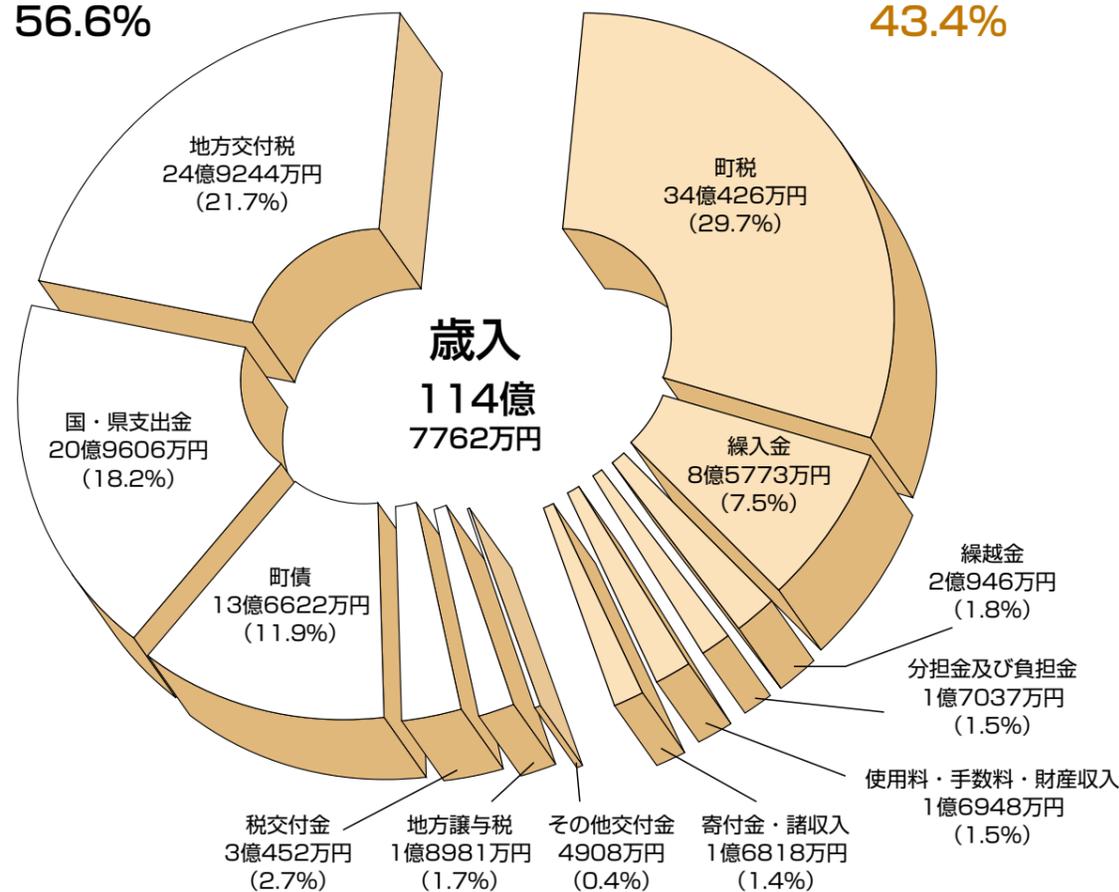
111億円の内訳

入ってきたお金

使ったお金

依存財源
56.6%

自主財源
43.4%



財源区分	名称	解説
自主財源 (地方自治体が自らの権限で収入できる財源)	町税	地方自治体が直接徴収する税。個人・法人町民税、固定資産税、軽自動車税など
	繰入金	基金繰入金は預金等を取り崩すもの
	繰越金	前年度の残金
	分担金及び負担金	特定のサービスを受益する者から徴収するもの。保育所運営費負担金など
	使用料・手数料・財産収入	使用料、財産収入は町の財産から得られるもの。手数料は諸証明交付手数料など
	寄付金・諸収入	諸収入はほかに分類されないもの。延滞金や電気使用料など
依存財源 (国・県など他からの収入に依存する財源)	地方交付税	一定の基準で算定した支出より収入が少ない場合に国から交付されるもの
	国・県支出金	国や県からの補助金など
	町債	財務省や銀行などからの借入金
	税交付金	都道府県が徴収した税のうち、市町村に交付するもの
	地方譲与税	国が徴収した税のうち、地方公共団体に譲与するもの
その他交付金	国策による減収や特定の経費に充てるために国から交付されるもの	

名称	解説
議会費	議会の活動に要する経費
総務費	全般的な管理事務、庁舎・財産等の維持管理のための経費
民生費	住民が一定水準の生活と安定した社会生活を保障するのに必要な経費
衛生費	住民が健康にして衛生的な生活環境を保持するための経費
労働費	失業対策に必要な経費
農林水産業費	農業、林業、水産業に要する経費
商工費	商工業の振興、観光事業等の経費
土木費	道路や橋りょう、河川、都市計画、公営住宅などに要する経費
消防費	消火及び防災に関する経費
教育費	教育委員会、小・中学校、生涯学習等社会教育、スポーツ振興、保健体育などに要する経費
災害復旧費	災害によって生じた被害の復旧に要する経費
公債費	借入金(元金・利子)の返済に要する経費

適切に使われたか

(村松輝夫委員長、藤原由巳副委員長)を設置して審議しました。

歳入

昆 町税の収納率が高いが、収納に当たってどのような取り組みをしているのか。

税務課長 滞納繰越分の解消に努めると共に徴収目標を掲げて、町民の納税意識向上に努めている。

藤原(梅) 一般会計における借金は決算額と同じ約100億円となっている。できるだけ借金を増やさない行財政運営が求められているが、見解は。

企画財政課長 次の世代に借金を残さないという考えは大切であり、基本であると捉えている。特に駅前区画整理事業は大きなプロジェクトであり5〜6年は借金残高に変動はないが、今後、できるだけ借金を残さない経営感覚の醸成に努めていきたい。



矢巾中学校プールに配備された緊急時浄水機

総務

村松(信) 防犯灯・街路灯の年間の電気料が620万円ほどになっているが、全てLEDに変更した場合、170万円ほどの節約になる。アンペア変更に係る補助を検討したい。

企画財政課長 今後、LED化に向け、コミュニティ補助制度による助成を検討したい。

小川 矢巾中開校に伴って、通学路に防犯灯や街路灯を増設するべきではないか。

道路都市課長 今年度は北郡山の谷地橋付近に設置予定。

高橋 防災訓練で矢巾中のプールの水を飲料水にする訓練も行うのか。

総務課長 実践に即した訓練とするため、これも含めて検討している。

産業・建設

藤原(梅) 太陽光による発電量の目標値を、計画より増やすことが必要ではないか。

住民課長 新エネルギービジョン策定委員会で重要性を考慮し、国の方針も含め検討する。

川村(農) 協働の道(つくりで、貸与するローラーを10トクラスにすれば仕上がり良くなるので検討されたい。

道路都市課長 今年度施工する太田行政区の2路線も含め今後検討していきたい。

齋藤 松くい虫の被害が目立ってきているが予防対策を進めているのか。

農林課長 22年度に発生を確認し、今年度は特に目立ってきている。町としては、町管理の松に予防対策を行っている。

るが、その他については照会があった際に業者等を紹介している。

山崎 人・農地プランの取り組みに対する今後の町の支援と、営農組合の法人化に向けた具体的支援は。

農林課長 人と農地のあるべき姿を求め集落単位で説明会を実施しており、モデルケースをつくり支援していく。法人化は今のところ具体的な動きはない。

米倉 プレミアム商品券は好評であり、長期的に継続してはどうか。

商工観光課長 21年から23年までは町の補助事業で行ったが、24年は商工会の単独事業で行う予定である。



地域農業を守るために頑張っている農家

決算審査特別委員会

決算審査は、議長を除く17人の委員で構成された特別委員会

予算は

暮らせる町づくりに



生き物調査を通じた環境保全活動(白沢子ども会)

福祉・環境

昆 福祉タクシー利用率向上のために、タクシー券つづりの裏に事業者名の一覧を印刷しては。

生きがい推進課長 タクシー券を給付するとき、別紙で事業者名一覧を配布している。今後はつづりの裏への印刷も検討していきたい。

川村(農) 駅前開発も含め町全体の環境の保全について指導を仰ぐ機関はあるのか。

区画整理課長 環境の保全について考える「町づくり委員会」があり、地区計画には町民からの意見もいただいている。

小川 町営住宅の網戸の設置が決まったが、取り付けが遅れているのはなぜか。

道路都市課長 三堤住宅が規格外で時間がかかっているが、

テンポを早め施工したい。

言生 犬猫による被害対策は。

住民課長 何件か苦情があり、飼い主のマナーの徹底を広報等で呼びかけている。

川村(よ) 町内の自殺者数の推移とその理由・職業は。役場内での連携と対策は。

生きがい推進課長 過去10年間の平均は約10人であり、23年は6人。理由は病気・生活苦・仕事上の悩みで、職業はさまざまである。対策は、町職員を対象にゲートキーパーの養成を行っており、各自治公民館でも自殺者予防対策講座を開催している。

※ゲートキーパーとは
自殺防止のため悩んでいる人に気付き声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげる見守る人。

特別会 計・水道

小川 駅前に建設予定の複合施設は必要なのか、見直しを。

区画整理課長 にぎわいと交流のため必要であり、盛岡のアイーナを小さくしたイメージで考えている。

山崎 水不足により水源である井戸が濁水となる心配はないのか。

上下水道課長 今のところ濁水の心配はないが、いつでも枯れる可能性はある。その対策として西部に一か所試験ボーリングを予定している。

昆 介護保険特別サービス給付費が使われず補正で減額されているが、利用の仕方わからないのではないのか。

生きがい推進課長 使われていないことから、今後はPR等を行っていく。

教育・文化

藤原(中) 中学生への各種大会参加費補助金が多くなっているが、その使い道と増加した要因は。

教育長 各種大会で勝ち進むことが多かった。特に文化部は人数が多く参加費・交通費・宿泊費の支出が増えたことによる。不足の時は増額で対応したい。

山崎 各小学校における児童数に大きな差が出てきているが、学区編成の見直し等について検討する時期にきているのではないのか。

学務課長 不動小、徳田小とも、現在1〜4年生までは1クラス、5〜6年生は2〜3クラスで、近い将来1クラスずつとなるので、学区の見直しについて検討しなければならぬ時期に来ていると捉えている。



大会出場に向け練習に励む矢巾北中バレーボール部

決算審査特別委員会

安心して

審査報告

決算審査特別委員会委員長 村松 輝夫

平成23年度一般会計の歳入は前年度より10億3938万円余の増(10%)の114億7761万円余となった。

歳出は矢巾中学校移転改築工事に伴う建設費、矢幅駅周辺土地区画整理事業、ケアハウス南昌等の大型プロジェクト関連事業ほか災害復旧費の増加等により前年度対比9億1869万円余の増(9%)の合計111億4746万円余となった。

学校教育は、11月に矢巾中学校新校舎が完成し、3学期を迎えた1月から安全対策と環境整備が図られた新校舎に移って心機一転勉学に励んでいることは評価したい。

学校給食共同調理場では簡易型の放射性物質濃度測定装置を導入し、学校給食の安全提供と食材に含まれる放射性物質に対する児童・生徒、保護者の不安を解消するため、独自に測定する体制を整えたことは高く評価する。

中村地区・藤沢地区の市街化編入は、第6次総合計画における人口3万人を目指す基であり、今後の開発に期待したい。



議長に審査報告書を提出する正・副委員長

町民要望に応えるべき

土地区画整理事業や矢巾中学校建設などの施工者は大手の企業で、その企業が利益を上げる仕組みを援助している町政である。
一般住民が切実に要望している各種税金の引き下げや生活道路整備、小規模農家・中小企業を含めた地域振興策が財政事情を理由に対応できていないことから反対する。
川村 よし子

反対

町民が主人公の町に

自然エネルギー等、テンポを上げて取り組む必要がある。予算は駅前開発に集中しているが、町道未舗装部分も多く、町営住宅は老朽化が進んでいる。今後これらの改善を進めるべきである。
もっと町民の声を聞いて、町民が主人公の町づくりの原点に立ち返ることを求め反対する。
小川 文子

計画どおりの事業実施

第6次総合計画どおり事業が実施されており賛成する。
特定検診・特定保健事業は、ヘルスアップ事業と併せて生活習慣病とその改善のために効果的に事業が展開され、住民の健康増進に貢献している。
一般会計・6特別会計全てにおいて黒字決算となっており健全な財政運営がなされたものと認められる。
谷上 哲

賛成

安全・安心を高く評価

矢巾中学校建設事業や矢幅駅周辺土地区画整理事業、汚水整備事業などが計画どおり実施され、実質公債費比率も減少しており、健全な財政運営がなされている。各自治公民館への発電機の配備、放射能測定器設置を高く評価する。
自主防災組織結成支援や太陽光発電の促進を期待して賛成する。
齊藤 正範

討論

人事案件

人権擁護委員を推薦

平成12年12月1日から4期お務めいただいている細川榮子さんと、町職員や岩手県看護協会副会長として活躍されてきた山本加代子さんを新たに推薦しました。



細川 榮子 さん(再)
(岩清水行政区)



山本 加代子 さん(新)
(西徳田一区)



松尾 光則 さん(再)
(盛岡市)



小野寺 由美子 さん(再)
(矢巾二区)

教育委員を選任

平成17年4月から2期お務めいただいております、教育長として活躍されている松尾光則さんと、平成23年1月から1期お務めいただいております小野寺由美子さんが、9月30日をもって再任されました。

みなさんからの請願

▽少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係わる意見書採択の要請についての請願
岩手県教職員組合
盛岡紫波支部
支部長 種市明生さん

▽私学教育を充実・発展させるための請願
私学助成をすすめる
岩手の会
会長 新妻二男さん

全員賛成

採択

審査意見

30人以下学級を導入し、個人に応じたゆとりある教育指導が望まれる。また、教職員は義務教育において最も重要であり、その給与費2分の1を国が保障することは、地方財政を圧迫させないという制度の背景からも当然である。

全員賛成

採択

審査意見

公立学校と私立学校の教育にかかる保護者の負担は、未だ大きな差がある。また、学校自体も経営維持に支障をきたし、廃校につながるなど、地域の過疎化に拍車をかけることも想定される。
教育の機会均等、地域の振興を保つ見地から、私学助成の増大に配慮すべきであると考える。

各議案の採決状況

平成24年第3回定例会（9月）

議案番号	提出議案	議員名	齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	昆秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子	米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	採決結果	
議案43号	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案44号	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めること		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案45号	矢巾町暴力団排除条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案46号	矢巾町屋外運動場照明施設設置及び管理に関する条例の廃止		反対	○	反対	反対	反対	反対	反対	反対	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否決
議案47号	矢巾町屋外運動場設置及び管理に関する条例の制定	※議案46号が否決されたことにより撤回																			
議案48号	矢巾町（不動地区）暗渠排水設置その1工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案49号	平成24年度矢巾町一般会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案50号	平成24年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案51号	平成24年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案52号	平成24年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案53号	平成24年度矢巾町下水道事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案54号	平成24年度矢巾町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案55号	平成24年度矢巾町矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案56号	平成23年度矢巾町一般会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案57号	平成23年度矢巾町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案58号	平成23年度矢巾町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案59号	平成23年度矢巾町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案60号	平成23年度矢巾町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案61号	平成23年度矢巾町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案62号	平成23年度矢巾町矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案63号	平成23年度矢巾町水道事業会計決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案64号	平成23年度矢巾町水道事業会計未処分利益剰余金の処分		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案65号	その他町道長岡徳田線道路災害復旧（24災47号）工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案2号	少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関わる意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案3号	私学教育を充実・発展させるための意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案4号	香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案5号	李明博韓国大統領の言動に抗議し、政府に対韓外交の見直しを求める意見書の提出		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

注：藤原議長は採決に加わらない。

再考すべき 矢巾中学校跡地

関連条例案を 否決

9月6日の本会議において、議案46号「屋外運動場（旧矢巾中グラウンド）照明施設設置・管理条例廃止案」と議案47号「屋外運動場・管理条例制定案」が一括提案された。これに対し山崎道夫議員が反対討論を行い、採決の結果、議案46号について賛成7、反対10で否決された。この結果を受け、町側は議案47号の提案を撤回した。

反対討論

提案された2つの条例案は、学校法人龍澤学館が平成26年4月に開校をめざしている私立中が、グラウンド利用を可能とすることを前提とした条例案であり、跡地利用は総合的な活用を町民で考え検討していくべきで、条例化は時期尚早である。

山崎 道夫

開校計画撤回に 対し緊急質問

9月21日の本会議において、冒頭町長から発言があり、本日開催予定の岩手県私学審議会に提出されていた学校法人龍澤学館による私立中学校開校に関する計画申請書を取り下げたとの報告が龍澤学館側からあった旨の報告がされた。その後、予定された議案審議が終了した後、山崎道夫議員から「緊急質問」の通告があり、議会運営委員会においてその取り扱いが協議された。その結果、緊急質問を認めるか否かについては議場での採決に委ねることとなり、採決の結果、賛成多数で追加議案として扱うことが承認され質問が認められた。

町民の声を大切に

山崎 龍澤学館が中学校開校の計画申請書を取り下げたことを受け以下伺う。
 ①私立中学校開校の計画は断念したと捉えているのか。
 ②校舎と体育館は耐震性に問題のある建物があり、早急に取り壊すべきではないか。
 ③跡地の活用にあたっては町民アンケートを行うなど、多くの町民の意見や要望を聞くべきである。

議会に対しても、しっかりと対応されたい。

慎重に検討する

町長 龍澤学館の計画書取り下げについては、熟慮した上での決断だと捉えているが、本日報告を受けたばかりであり、それ以上の話はできない。
 ②まだ整理ができていないので、今後の扱いについて今の段階では何も言えない。
 ③跡地利用について慎重に検討していく。

議会とは今後の方向性が定まってから、しっかりと話し合いをしていきたい。



取り壊し予定の旧矢巾中体育館



議員 昆 秀一

福祉計画策定に障がい者を

障がい者からの人選も検討



介護タクシーを利用しての外出

一般質問 施策を問う

質問 本町の障がい者福祉について伺う。

①第3期矢巾町障がい者プラン及び障がい福祉計画策定委員人選の考え方は。

②視覚障がい者のため新設された同行援護とガイドヘルパー派遣事業の違いは。

③交流ふれあいの場の拡充は。

駅西施設に期待

質問 本町の高齢者福祉・介護保険事業について伺う。

①第5期介護保険事業計画の素案の作成者は、策定委員会の人選は。アンケートの回答状況と住民説明会は。

②町内の老人保健施設等の定

高齢者福祉の充実を

町長

①地域での自立・就労等を支援する検討の場とするため、偏ることなく人選しているが、今後は障がい者からの人選も検討していく。

②同行援護は障害者自立支援法の介護給付対象となる。ガイドヘルパー派遣事業はボランティアによる介護事業であるが、町内の登録者はいない。

③健康福祉まつり、ふれあい広場、各種スポーツ交流会が開催されており、今後使いやすい施設の拡充に努める。

町長

員と入居率、待機者と今後の見通し。

①(株)ワイズマンコンサルティングに委託。被保険者や一般公募を含め14名を町で人選している。

アンケートでは生活機能やリスク、高齢者の見守りや地域福祉について質問し、500名超の回答があった。住民説明会では特に介護保険料の軽減の要望があった。

②介護保険施設2箇所定員184名、入居率95%、待機者21名。特別養護老人ホーム1箇所定員87名、入居率100%、待機者49名。グループホーム2箇所定員40名、入居率97%、待機者2名。矢幅駅西口にできる「ケアセンタ―南昌」により待機者の要望が満たされる見込みである。

その他の質問
◇福祉行政について



議員 村松 信一

施政方針の進捗状況を問う

多くの事業に全力を傾注

質問 平成23年度の施政方針における基本施策の進捗状況について伺う。

①矢巾スマートインターチェンジ設置の進捗状況は。

②地域協働道づくり事業の実施状況と効果について。

③特定検診受診率と目標値との差をどう捉えているか。

④乳児家庭全戸訪問事業や地域子育て支援拠点事業の取り組み状況について。

⑤各学校ごとに「学びフェストやはば」を設定し、学校評議員による外部評価の検証による指導改善とあるが、この施策の外部評価は。

町長

①8月に関係機関による現地調査を終えており、年内に地

一般質問 施策を問う

区協議会の立ち上げ、年度内には国に対して連結許可申請を予定している。

②平成23年度は、土橋地区の3路線でアスファルト切削材を使用し、639㎡を実施。24年度は、和味地区の89㎡を施工済みで、さらに太田地区の716㎡を予定している。



地域住民も参加しての協働の道づくり(土橋地区)

③特定健康診査の受診率は目標値の75%に対し51.7%であるが、22年度との比較では4.5%増加した。

今後、23年度から実施している個別健診により、集団健診以外でも特定健診を受けられるよう努める。

④対象乳児は200人で、そ

のうち183人、91.5%の家庭訪問を実施した。残りの17人に対しては、さわやかハウスでの面会が12人、里帰り出産の5人には電話で対応できた。

今後も子育ての悩みや不安の解消などに努めていく。

教育委員長

⑤学校評議員は保護者や地域住民の中から、本年度は各校3名ずつで18名をお願いしている。

外部評価は、小学校はあいさつはしっかりできていたが、早寝や家庭での手伝い・学習や読書時間の確保の点で課題があるとの評価である。

中学校では、学校生活に落ち着きが見られ、あいさつも良いといった評価と、地域との交流や地域貢献を学校運営に生かしてほしいなどの意見があった。

また、教師が共通の目標を持って指導し、関係機関との連携がとれていることが良好であると評価されている。



やまざき 山崎 道夫 議員

いじめ防止の取り組みは 早期把握に努める

教育委員長

①全小中学校にて児童生徒全員にいじめに関するアンケートを年複数回実施しており、いじめの訴えなどがあつた場合は、保護者などと連携を図り解決に向けて対処している。

- 質問** いじめ防止の取り組みについて以下伺う。
- ①各学校でのアンケート調査や個人面接の実施状況は。また早期把握と初期対応にどう生かされているか。
 - ②初期対応マニュアルはどのように活用されているか。
 - ③人間として大事な心の教育はどのように行われ、いじめ防止に生かされているか。
 - ④本町の小中学校でいじめの実態はあるか。



助け合いの心が絆をつくる

- ②いじめの定義、発見のポイントなどが解説されており、サポートチームを立ち上げるなど活用している。
- ③道徳で個々を認め合う人間関係づくり等を進めている。
- ④昨年度の調査では、小学校2件、中学校1件、教育相談室2件で、解決済みである。

旧矢巾中跡地の の利活用は 教育施設が最善

- 質問** 旧矢巾中学校跡地の利活用について伺う。
- ①学校法人ありきでなく、あ

- らゆる可能性を追求し、悔いが残らない利活用方法を模索するべきでは。
 - ②町民の意向を確認する機会を持ち、町民合意のもとで跡地活用を考えるべきでは。
 - ③拙速に結論を出すことなく、当面更地にして、時間をかけて最善の利活用を町民と考えるくらいの余裕があつてもいいのでは。
- 町長**
- ①既存施設の有効利用が図られるほか、中学校開設で矢幅駅西口の交流人口の増加が見込まれ活性化につながることから、教育施設としての再利用が最善と考えている。
 - ②さまざま意見がある中、すべての町民が合意する案は難しいが、町民の声を聞き町の将来を見据えて跡地活用を考えている。
 - ③教育施設として有効活用することが望ましいと判断して進めている。

移転補償金に対する税金は 優遇措置を説明



かわむら 川村 よし子 議員



区画整理が進む矢幅駅前地区

- 質問** 矢幅駅周辺土地区画整理事業に関し伺う。
- ①高齢者・障がい者の引越越しや、過少宅地に対する精算金などの説明は。
 - ②移転補償金に対し、税金は発生するか。

- 町長**
- ①賃貸住宅の情報提供や移転の支援をしており、精算金の説明は仮換地指定の前に行っている。
 - ②公共事業に伴う補償金収入は課税されるが、税制の優遇措置があり、説明会を行っている。

低所得世帯の 国保税減免を 現行制度で対応

- 質問**
- ①所得の少ない国保加入世帯に、一般会計から財源を繰り入れる国保税の減免対策が必要ではないか。
 - ②住民税非課税者の国保税滞納者が多い原因をどう分析しているか。
- 町長**
- ①町は国民健康保険税減免要綱に基づき、申請者の生活状況に応じた保険税の減免を

子ども歯科治療 無料化の拡大 現在は考えていない

- 質問**
- ①乳幼児・学童の歯科検診後の歯科治療率はどのくらいか。また未治療児童への対策をどう考えているのか。
 - ②子どもの歯科治療費の無料化拡大を。
- 町長**
- ①治療率は乳幼児35・7%、学童63・3%であり、保護者へ受診の奨励をしている。
 - ②歯科を含め、子どもの医療費無料化の拡大については、現在考えていない。

- 行っている。一般会計からの基準外繰り入れによらない財政運営で、健全な運営に努めていくこととしている。
- ②住民税非課税者の収納率は98・1%で、特に滞納者が多いという状況ではない。



ふじわら 藤原 議員

大震災後の本町の対応は

職員派遣を継続し支援

質問 大震災から1年6ヶ月経過するが、本町における最近の対応状況を伺う。

①被災地支援と被災者の受け入れ状況は。

②放射能汚染に対する農家への支援状況は。

③2月から実施しているガレキ処理の現在の対応は。

④住民基本台帳などの、住民データのバックアップ体制に対する対応は。

町長

①県の要請で釜石市へ1名1年間派遣し、9月には大槌町へ保健師3名を延べ6日間派遣する予定である。

被災者の受け入れは、現在51世帯124名が町内で避難生活を送っている。



収穫作業に精を出すシイタケ農家

②特にシイタケ栽培農家は、販売、出荷、原木の調達、賠償金請求交渉等で未だに大変苦労しているが、原木の調達については希望の95%、14万本を確保した。

③8月現在で、約1800ト

の処理をし、計画の約25%で26年3月まで受け入れ予定である。放射線量の測定を週1度実施し、1日約11トの処理を行っている。

④サーバーを2台体制として安全性を図り、遠隔地の民間データセンターでデータの保全をしている。

◆**その他の質問**
◆脱原発対応について

教育委員長 矢巾中学校は各学年とも男性教員が指導を行い、矢巾北中学校は各学年とも男女の教員で分担し、授業を行う予定である。

また、救急救命体制など、特に安全に対しては十分に配慮していく。

授業は12月から1月にかけて、6週間で約9時間を予定している。

矢巾中跡地有効利用を

校舎は龍澤学館へ無償譲渡



おがわ 小川 議員



町民に有効利用されているグラウンド

質問 矢巾中跡地利用を伺う。

①グラウンドは運動場と公園として、また野外コンサートや軽トラ市など各種イベントができる場所にできないか。

②旧校舎は、公民館的な利用や子供たちの学習スペースにできないか。

③200人程度の生徒で旧校舎を全面活用できるのか。

④コミュニティ会長、行政区域協議での意向をどう捉えているのか。

町長

①龍澤学館が開設する中学校が利用しない時間帯は、これまでどおり一般開放をする。

②町の施設としての活用は考えていない。

③現時点では把握していないが、独自の教育理念のもと、旧校舎の有効活用が図られるものと考えている。

④いろいろな提言をいただいたが、町の方針に対し理解をいただいたと捉えている。

町長

①平成4年度の着手以降の進捗率は76・9%である。

②改修計画はなく避難指示・排水処理にて対応する。

③西郷地区県営圃場整備事業により整備したが、豪雨時は流入量調整で対応する。

④紫波町と連携し対策をとる。

⑤関係機関との協議を行い調査・研究をする。

⑥パイプを新たに布設しマンホール蓋の交換工事も実施中。

⑦その都度修復しているが県道昇格を予定している。

質問 過去の水害対策について伺う。

①岩崎川改修の進捗状況は。

②南矢幅5区の新川対策は。

各地の水害対策は 状況に応じ対応

◆**その他の質問**
◆保育所への入所条件は
◆災害時の障がい者への対応

武道の必修化は 安全を第一に

安全を最優先に 取り組み

質問 本年度から中学校1、2年生で柔道が必修になるが、安全に指導する体制は取られているのか。

また、授業開始はいつからになるのか。

教育委員長 矢巾中学校は各学年とも男性教員が指導を行い、矢巾北中学校は各学年とも男女の教員で分担し、授業を行う予定である。

また、救急救命体制など、特に安全に対しては十分に配慮していく。

授業は12月から1月にかけて、6週間で約9時間を予定している。



トロフィーを片手に笑顔の筆者

MFJモトクロス全国大会 国内A級オープンクラスで優勝

横澤拓夢さん（矢巾中学校3年、室岡）

まだ夢の途中

挑戦し続けます

8月5日に宮城県スポーツランドSUGOで行われたMFJモトクロス全国大会、国内A級オープンクラスで優勝した矢巾中学校3年生の横澤拓夢です。

昨年の全国大会ではジュニアクラス3位で悔しい思いをしました。その時、「来年は絶対に優勝するぞ」と心に決めました。それから1年間、目標を達成するために、毎日のトレーニングをかかさずに頑張りました。冬は雪が積もって練習できないので、おじいさんに「福島へ練習に連れて行ってちょうだい！」と頼み込み、毎週土日は福島県いわき市で合宿をしました。そのおかげで、東北モトクロス選手権開幕戦で優勝することができました。おじいさんには本当に感謝しています。それから3カ月間、全国大会までにはたくさん練習しました。平日は朝5時半に起き

て6時から7時まで朝練習もしました。朝練後の学校はきつかったのですが、校長先生や友達に励まされながら頑張りました。

全国大会当日はとても緊張し、朝の公式練習と予選では走りが硬く、全然リズムがつかめませんでした。チーム監督の佐々木さんからアドバイスをもらい、レースまでの間何度も自分の走りをイメージして、スタートラインへ向かいました。

決勝レースではスタートからトップに立ち、自分の走り最後まで走りきり優勝できました。ゴール後に家族、チームメイト、監督、応援してくれた人たちと涙で握手を交わすと、感謝の気持ちがこみ上げてきました。まだ夢の途中です。夢の世界に向けて兄と共に挑戦し続けます。

あ と が き

今年の夏は猛暑、酷暑、激暑等、どういう表現がいいのか考えることも辛くなるような、なにもかにも暑い日の連続であった。

また、9月議会も熱い論戦が展開され、エアコンのない議場は暑さと熱さで頭も体も心もヒートアップの連続であったが、充実感のある議会であった。

議会と町民のパイプ役である議会だよりの編集にあたり、町民の皆さんに議会の様子をできるだけ正確に伝えるよう精いっぱい努力していきますので、これからも期待してください。

編集委員長

山崎 道夫

発行・編集責任者

議長 藤原 義一

編集委員

委員長 山崎 道夫

副委員長 小川 文字

委員 齊藤 正範

委員 昆 秀一

委員 藤原 梅昭